

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年9月26日

【四半期会計期間】 第64期第2四半期(自 平成26年5月21日 至 平成26年8月20日)

【会社名】 株式会社セキチュー

【英訳名】 SEKICHU CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 関 口 忠 弘

【本店の所在の場所】 群馬県高崎市倉賀野町4531番地1

【電話番号】 027(345)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理統括部長 室 田 善 弘

【最寄りの連絡場所】 群馬県高崎市倉賀野町4531番地1

【電話番号】 027(345)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理統括部長 室 田 善 弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第63期 第2四半期累計期間		第64期 第2四半期累計期間		第63期	
	自 平成25年 2月21日 至 平成25年 8月20日	自 平成25年 2月21日 至 平成25年 8月20日	自 平成26年 2月21日 至 平成26年 8月20日	自 平成26年 2月21日 至 平成26年 8月20日	自 平成25年 2月21日 至 平成26年 2月20日	自 平成25年 2月21日 至 平成26年 2月20日
売上高 (千円)	18,213,071	18,835,792	18,835,792	18,835,792	35,788,137	35,788,137
経常利益 (千円)	447,001	951,720	951,720	951,720	668,150	668,150
四半期(当期)純利益 (千円)	233,651	556,031	556,031	556,031	241,195	241,195
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)						
資本金 (千円)	2,921,525	2,921,525	2,921,525	2,921,525	2,921,525	2,921,525
発行済株式総数 (株)	11,172,300	11,172,300	11,172,300	11,172,300	11,172,300	11,172,300
純資産額 (千円)	10,466,900	11,053,185	11,053,185	11,053,185	10,500,977	10,500,977
総資産額 (千円)	19,884,690	19,533,524	19,533,524	19,533,524	19,472,206	19,472,206
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	21.09	50.19	50.19	50.19	21.77	21.77
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
1株当たり配当額 (円)					10	10
自己資本比率 (%)	52.6	56.6	56.6	56.6	53.9	53.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,042,284	1,105,135	1,105,135	1,105,135	974,960	974,960
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	44,366	97,036	97,036	97,036	159,856	159,856
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	674,147	611,272	611,272	611,272	988,262	988,262
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	809,560	1,029,171	1,029,171	1,029,171	632,344	632,344

回次 会計期間	第63期 第2四半期会計期間		第64期 第2四半期会計期間	
	自 平成25年 5月21日 至 平成25年 8月20日	自 平成25年 5月21日 至 平成25年 8月20日	自 平成26年 5月21日 至 平成26年 8月20日	自 平成26年 5月21日 至 平成26年 8月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.91	3.91	17.37	17.37

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結財務諸表に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社が存在しないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等及び新たな投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生はなく、また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等が行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日本銀行の金融政策により、輸出企業を中心に、景気は回復基調で推移いたしました。反面、原材料価格やエネルギー価格の高騰は依然として厳しい状況が続いており、またさらなる消費税増税の議論が本格化するなど個人消費についても先行き不透明な状況となっております。

ホームセンター業界におきましては、消費税増税による消耗品等の売上の伸び悩みは、緩やかに改善しつつあるものの、夏の天候不順による季節商品の不振等、依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社は「顧客満足に向け組織で行動する」を当事業年度のテーマに掲げ、本部と店舗が一丸となり、サービスレベルの向上に取り組み、お客様第一主義を実践してまいりました。具体的には「上場20周年」と銘打ち大型チラシの掲載や当社出店地域でのイベント協賛を行うなど、各種販促施策を行い、売上高や客数の確保、当社出店地域でのブランディングに努めてまいりました。店舗政策におきましては、企業収益の向上と体質の強化を目的として本年6月に「ホームセンターセキチュー行田店」を閉鎖いたしました。

当第2四半期累計期間におきましては、夏の天候不順等によりインテリアや家電品等一部商品が伸び悩みましたが、本年2月15日に発生した大雪以降、継続して好調な建築資材やリフォーム関係商品をはじめ、概ね好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は188億3千5百万円(前年同期比3.4%増)となりました。営業利益は7億9千6百万円(同237.4%増)、経常利益は9億5千1百万円(同112.9%増)、四半期純利益は5億5千6百万円(同138.0%増)となり、増収増益となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

流動資産は、前事業年度末と比べ6千5百万円減少し、76億5千5百万円となりました。これは、現金及び預金が3億9千6百万円増加しましたが、たな卸資産が5億円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末と比べ1億2千6百万円増加し、118億7千7百万円となりました。これは、投資有価証券が1億6千7百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前事業年度末と比べて6千1百万円増加し、195億3千3百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前事業年度末と比べ3億7千9百万円減少し、66億4千万円となりました。これは未払法人税等が2億5百万円増加しましたが、短期借入金が3億円、買掛金が2億6千8百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末と比べ1億1千万円減少し、18億3千9百万円となりました。これは、長期借入金(1年内返済分を除く)が2億円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度と比べ4億9千万円減少し、84億8千万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べ5億5千2百万円増加し、110億5千3百万円となりました。これは、利益剰余金が4億4千5百万円増加したこと等によります。

## (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ3億9千6百万円増加し10億2千9百万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、11億5百万円(前年同四半期比6千2百万円、6.0%増)となりました。これは税引前四半期純利益が9億9千2百万円(前年同四半期比6億4千2百万円、183.8%増)、減価償却費が1億8千6百万円(前年同四半期比1千6百万円、8.0%減)、たな卸資産の減少額が5億円(前年同四半期比4億6百万円、434.5%増)あったこと等によります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、9千7百万円(前年同四半期比5千2百万円、118.7%増)となりました。これは差入保証金の回収による収入が1億1千8百万円(前年同四半期比4百万円、3.3%減)ありましたが、有形固定資産の取得による支出が7千7百万円(前年同四半期比5千8百万円、43.1%減)、無形固定資産の取得による支出が6千9百万円(前年同四半期比2千9百万円、72.1%増)あったこと等によります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億1千1百万円(前年同四半期比6千2百万円、9.3%減)となりました。これは短期借入金の純増減額が3億円減少したこと(前年同四半期比2千万円、7.2%増)、長期借入金の返済による支出が2億円(前年同四半期比8千3百万円、29.4%減)あったこと等によります。

## (4) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年8月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年9月26日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,172,300	11,172,300	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 1,000株であります。
計	11,172,300	11,172,300		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年 8月20日		11,172,300		2,921,525		3,558,349

(6) 【大株主の状況】

平成26年 8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社サウス企画	東京都北区中里 1 - 9 - 12 - 904	5,015	44.88
セキチュー取引先持株会	群馬県高崎市倉賀野町4531 - 1	1,384	12.39
アトム総業株式会社	群馬県高崎市並榎町134 - 1	570	5.10
株式会社しまむら	埼玉県さいたま市北区宮原町 2 -19- 4	419	3.75
株式会社群馬銀行 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	群馬県前橋市元総社町194 (東京都中央区晴海 1 - 8 -12 晴海アイラン ドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	397	3.55
関 口 忠 弘	東京都北区	330	2.95
関 口 忠	群馬県高崎市	330	2.95
関 口 礼 子	群馬県高崎市	329	2.94
セキチュー従業員持株会	群馬県高崎市倉賀野町4531 1	286	2.56
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4 - 1 - 25	202	1.81
計		9,265	82.93

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 95,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,036,000	11,036	
単元未満株式	普通株式 41,300		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	11,172,300		
総株主の議決権		11,036	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式248株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社セキチュー	群馬県高崎市倉賀野町 4531 1	95,000		95,000	0.85
計		95,000		95,000	0.85

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成26年5月21日から平成26年8月20日まで)及び第2四半期累計期間(平成26年2月21日から平成26年8月20日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。



## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	632,344	1,029,171
売掛金	451,913	526,859
たな卸資産	1 6,093,950	1 5,593,477
その他	542,629	506,151
流動資産合計	7,720,838	7,655,659
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,999,655	2,949,692
土地	2,782,015	2,767,386
その他(純額)	746,573	737,530
有形固定資産合計	6,528,243	6,454,609
無形固定資産		
投資その他の資産	349,564	410,205
差入保証金	3,830,941	3,820,296
その他	1,097,041	1,229,062
貸倒引当金	54,423	36,309
投資その他の資産合計	4,873,559	5,013,050
固定資産合計	11,751,367	11,877,864
資産合計	19,472,206	19,533,524
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,021,637	4,753,239
短期借入金	300,000	
1年内返済予定の長期借入金	400,044	400,044
未払法人税等	148,227	353,512
賞与引当金	89,614	90,730
賃借契約損失引当金	21,610	21,610
その他	1,039,524	1,021,564
流動負債合計	7,020,658	6,640,701
固定負債		
長期借入金	696,494	496,472
役員退職慰労引当金	634,491	656,755
賃借契約損失引当金	16,291	5,485
資産除去債務	258,936	261,760
その他	344,357	419,163
固定負債合計	1,950,570	1,839,636
負債合計	8,971,228	8,480,338

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,921,525	2,921,525
資本剰余金	3,558,349	3,558,349
利益剰余金	3,961,377	4,406,629
自己株式	37,091	37,471
株主資本合計	10,404,161	10,849,033
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,816	204,152
評価・換算差額等合計	96,816	204,152
純資産合計	10,500,977	11,053,185
負債純資産合計	19,472,206	19,533,524

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
売上高	18,213,071	18,835,792
売上原価	13,352,072	13,615,662
売上総利益	4,860,998	5,220,130
販売費及び一般管理費	4,624,811	4,423,133
営業利益	236,187	796,996
営業外収益		
受取利息	22,881	21,204
受取配当金	4,987	4,839
受取賃貸料	242,006	250,865
その他	149,546	61,360
営業外収益合計	419,421	338,269
営業外費用		
支払利息	7,114	4,615
賃貸収入原価	160,892	168,492
その他	40,599	10,437
営業外費用合計	208,607	183,545
経常利益	447,001	951,720
特別利益		
受取保険金		53,370
特別利益合計		53,370
特別損失		
減損損失	97,403	13,000
特別損失合計	97,403	13,000
税引前四半期純利益	349,598	992,091
法人税、住民税及び事業税	108,783	339,312
法人税等調整額	7,163	96,747
法人税等合計	115,946	436,060
四半期純利益	233,651	556,031

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	349,598	992,091
減価償却費	202,767	186,597
減損損失	97,403	13,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	185,258	18,113
賞与引当金の増減額(は減少)	866	1,116
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,837	22,264
賃借契約損失引当金の増減額(は減少)	9,375	10,805
受取利息及び受取配当金	27,869	26,043
支払利息	7,114	4,615
その他の固定資産の増減額(は増加)	195,037	
受取保険金		53,370
売上債権の増減額(は増加)	45,516	74,945
たな卸資産の増減額(は増加)	93,638	500,472
仕入債務の増減額(は減少)	215,891	268,398
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(は減少)	1,301	481
その他	101,742	25,153
小計	1,004,447	1,294,113
利息及び配当金の受取額	10,239	9,095
利息の支払額	5,513	3,250
保険金の受取額		53,370
災害損失の支払額		113,685
法人税等の支払額	11,073	134,508
法人税等の還付額	44,185	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,042,284	1,105,135
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	136,915	77,916
無形固定資産の取得による支出	40,470	69,634
有形固定資産の売却による収入	54,647	19,684
資産除去債務の履行による支出		33,300
投資有価証券の取得による支出	1,801	1,801
差入保証金の回収による収入	122,356	118,313
差入保証金の差入による支出	15,573	48,482
その他	26,611	3,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,366	97,036
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	279,950	300,000
長期借入金の返済による支出	283,362	200,022
自己株式の取得による支出	346	380
配当金の支払額	110,488	110,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	674,147	611,272
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	323,769	396,826
現金及び現金同等物の期首残高	485,790	632,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	809,560	1,029,171

【注記事項】

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月20日)
商品	6,064,677千円	5,568,834千円
貯蔵品	29,272	24,642
計		

2 保証債務等

ローンコミットメント

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月20日)
エスケイシー・ファンディング・コーポレーション	196,265千円	エスケイシー・ファンディング・コーポレーション 161,320千円

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
給料及び手当	1,497,545千円	1,470,934千円
賞与引当金繰入額	67,904	90,730
退職給付費用	31,343	30,196
役員退職慰労引当金繰入額	16,645	24,264
賃借料	1,405,782	1,364,762
減価償却費	198,690	177,195

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年2月21日 至 平成26年8月20日)
現金及び預金	1,109,560千円	1,029,171千円
預入期間が3か月超の定期預金	300,000千円	千円
現金及び現金同等物	809,560千円	1,029,171千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月14日 定時株主総会	普通株式	110,790	10.00	平成25年2月20日	平成25年5月15日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 平成26年2月21日 至 平成26年8月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月14日 定時株主総会	普通株式	110,778	10.00	平成26年2月20日	平成26年5月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、ホームセンターのみであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
1株当たり四半期純利益金額	21円09銭	50円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	233,651	556,031
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	233,651	556,031
普通株式の期中平均株式数(株)	11,078,635	11,077,507

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年9月24日

株式会社 セキチュー  
取締役 会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 瀬戸 卓

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 杉田 昌則

当監査法人は、金融商品取引法第193条の第2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社セキチューの平成26年2月21日から平成27年2月20日までの第64期事業年度の第2四半期会計期間(平成26年5月21日から平成26年8月20日まで)及び第2四半期累計期間(平成26年2月21日から平成26年8月20日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社セキチューの平成26年8月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。